

保育所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年 3月 26日

保育所名：小規模保育園さざなみの家

		チェック項目	はい	いいえ	分からない	未記入
環境・体制整備	1	生活空間は、子どもの成長・発達に配慮された環境になっていますか	20			
	2	生活空間は、清潔で、心地よく子どもの活動に合わせた空間となっていますか	20			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、職員が参加していますか	20			
	4	保育園向け自己評価表や保護者向け評価表の結果を踏まえ、自己評価を行うとともに、その結果・内容を、ホームページ等で公開していますか	20			
	5	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげていますか		20		
	6	職員の資質の向上を行うため、研修の機会を確保していますか	20			
保育の提供	7	丁寧なアセスメントで子どもの発達状況を把握し、指導計画を作成していますか	20			
	8	指導計画に沿った支援が行われていますか	20			
	9	活動内容が総合的な視点から柔軟な形で対応されていますか	20			
	10	子どもの状況に応じ、個別と集団活動を柔軟に組み合わせて指導計画を作成していますか	20			
	11	職員間で情報共有をし、その日行われる保育の内容や役割分担について確認していますか	20			
	12	保育終了後には、職員間で、その日の振り返りを行い、情報共有をしていますか	20			
	13	日々の支援に関して記録をとり、保育の評価・改善につなげていますか	20			

関係機関や保護者との連携	14	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っていますか	20			
	15	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っていますか	20			
	16	同法人の保育園、児童発達支援事業所等の関係機関、または職員と連携し、助言や研修を受けていますか	20			
	17	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持っていますか	20			
	18	保護者に対して保護者向け講座や家族支援プログラム（親と子の心をつなぐプログラムTo Heart等）の支援を行っていますか	20			
保護者への説明責任等	19	入園のしおり、運営規程、重要事項、利用者負担等について丁寧な説明を行っていますか	20			
	20	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っていますか	20			
	21	保護者参加型の行事、保護者向け講座等の開催により、保護者同士の連携を支援していますか	20			
	22	子どもや保護者からの相談やご意見について、担当窓口が決まっていて、適切に対応していますか	20			
	23	園だよりやホームページ等で、活動や行事内容等の情報を子どもや保護者に対して発信していますか	20			
	24	個人情報の取扱いに十分注意していますか	19	1		
非常時等の対応	25	保育園の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた園運営を図っていますか	16		4	
	26	緊急時の各種対応マニュアルを策定し、入所時に保護者へ周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練を実施していますか。	20			
	27	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っていますか	20			
	28	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認していますか	20			
	29	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされていますか	20			
	30	ヒヤリハット事例集を作成して保育園内で共有していますか	20			
	31	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしていますか	20			

自由記載
個人情報の取り扱いについて改善していきたい。（個人情報の洗い出し、取り扱いの周知徹底等）。環境に関して、事務用品、保育用品の整理整頓をしていきたい。
生き物や季節の植物に触れることができるのが良い。
職員同士での情報をもう少し増やしていきたい。
コロナのため、大人も子どももさらに安全に生活できるよう気を配っている。一人ひとりの成長の段階を把握しながら、保育しているつもりでも声のかけ方がうまくいかない。他の先生方の助言や記録を注意深く、参考にして子どもたちがのびのびと成長できるよう、改善していきたい。小さなことでも報告して意見を聞いていきたい。
保育者ひとりひとりが子どもの命を預かる職責として、非常時等の対応を今一度しっかりと把握して動けるようにしていく。
前日までの子どもの様子やその日の登園時の様子をその日の朝に確認し合い、日中も声を保育士間で掛け合いながら連携を図り、午睡中や保育終了時にその日の振り返りを行って、充実した柔軟な保育、ひとりひとりの子どもを大切にしたい関わりができるように心がけていきたい。
季節や伝統の行事にふれる機会を大切にしたい保育、読み聞かせや音楽にふれ、情操教育など、子どもたちの発達を考えた保育をしている。発達支援、親支援の研修に保育士の積極的な参加も必要であると考えている。
児童発達支援事業所そよかぜとの連携をより深めていきたい。
管理栄養士が所属しており、家庭的な雰囲気でも小さな子どもたちへの食の安全、栄養に気が配られている。

○この「保育所における自己評価結果（公表）」は、保育所全体で行った自己評価です。